

第4回菊川市総合計画審議会（令和6年12月13日開催）での主なご指摘事項について

No.	主なご指摘事項	対応方針等
1	<p><政策大綱について>魅力目標の下の政策について、第2次菊川市総合計画の政策名と一緒にではないか。新しいものや部分の並び替えもいろいろあるけれども、基本的に政策名と一緒にではないか。第3次総合計画で、第2次総合計画から継続しているものは何なのか、落ちたものは何なのか、新しいものは何なのか、整理してもらいたい。</p>	<p>魅力目標に紐づく政策や施策の文章については、主に毎年実施している行政評価の結果等を踏まえ、第3次総合計画の8年間を見据えた内容に変更しています。一方で政策名については、第2次総合計画の名称を引き継いでいる政策が多かったため、名称についても8年間を見据えた内容に変更していきます。</p>
2	<p><政策大綱について>魅力目標2の「安心」だけ政策が2本しかない。パッと見た印象で、魅力目標2の重要度が軽いのではないかとと思われる。</p>	<p>第3次総合計画の魅力目標は、市民意識調査の結果で魅力が低かったカテゴリーを優先的に高めていくこととしているため、魅力目標の2番目に位置した「安全」の重要度は高く位置付けています。また、政策の数ですが、昨今の自然災害等への「安全安心」の意識の高まりを踏まえ、第2次総合計画では社会資本整備の1つとして組み込まれていました「防災」の分野を、特出ししたことにより政策数は少なくなりましたが、単独で魅力目標の1つを構成することで、快適に暮らせるまちの大前提となる、安全安心なまちづくりを優先的に進めていく構成としました。</p>
3	<p><政策大綱について>5つの魅力目標が、大体2文字とか3文字で、「次世代」とか「安心」とか言っている。この2文字、3文字の下に2行、3行説明がないと、魅力目標と政策を見た限りだと上と下が合っていないという印象がする。</p>	<p>第3次総合計画の計画書冊子の中で、5つの魅力目標の各カテゴリーの説明を掲載していきます。</p>
4	<p><政策大綱について>魅力目標を強化する強化戦略に「安全安心」という言葉が入っている。魅力目標に「安全」があり、強化戦略でも「安全安心」もあることも含めて、強化戦略の位置づけがどう魅力目標と政策に関わってくるのかがイメージがわからない。</p>	<p>第3次総合計画の構成では、政策があり、そこに紐づく施策があります。また、その施策に紐づく具体的な事業計画があります。こうした階層構造の中で、具体的な事業に対して、強化戦略であげた「安全安心」や「多様性」、「デジタル」などをポイントとして、意識をしながら事業を実施していくものとなります。分かりやすい表現とするため、「強化戦略」から「強化視点」に名称を変更していきます。</p>
5	<p><目標人口について>人口増加の主な理由が外国人の転入超過ということで、大いに多文化共生を進めてもらいたい。ただ現実的には外国人が多く住んでいるところでは自治会に加入しないとか、教育現場で学校の先生が困っているとか、そういった現実的な課題がいっぱいある。教育、日常生活、コミュニティ、それから雇用、あらゆる面で外国人の方を受け入れて日本人と同じように生活してコミュニティが形成され、地域が一体となって豊かな暮らしをしていくという方向性を忘れないようにしていかないといけない。</p>	<p>第3次総合計画のほかに、一体化して策定する第3期総合戦略の中で、「増加する外国人人口への対応」の視点を設け、いただいた意見を参考に事業を進めていきます。</p>
6	<p><目標人口について>菊川市の人口が予想より減っていないとなっている。その主な理由を外国人の転入超過としてあげている。一方で、特に日本人の子どもを産む出生率がどんどん低下して、地域も非常に苦しい状況になっている。そういった背景が人口をどうしていくべきかの政策論になる。外国人を受け入れていけばいいのではなく、菊川市の特徴を書きながら人口に取り組んでいくとした方がよい。</p>	<p>計画書の中には人口分析の結果等を踏まえた内容を補記させていただきます。</p>